

# 独立行政法人国立病院機構高松医療センター

実施日	令和7年8月6日(水)	実施時間	8:50 ~ 12:00
参加人数 計 4名	小学生0名(男0名・女0名) 高校生4名(男0名・女4名)	中学生0名(男0名・女0名) その他0名(男0名・女0名)	
実施 プログラム	<ul style="list-style-type: none"><li>・白衣の着用</li><li>・挨拶・自己紹介</li><li>・看護部長さんからのお話</li><li>・記念撮影</li><li>・看護体験①(脈拍・血圧・SP02測定、聴診器で呼吸音・心音聴取、車椅子移乗・操作・護送、患者さんとのふれあい)</li><li>・看護体験②(モニター・救急カート見学、改良型ナースコール見学、透明文字盤を使ってコミュニケーション)</li><li>・担当看護師との交流会(感想や質問コーナー)</li></ul>		
実施内容	<p>今年度は、8/6(水)に「ふれあい看護体験」を実施し、高校生が4名参加しました。医療や看護の道に進もうとしている3年生だったこともあり、一つひとつの体験に対して一生懸命に取り組んでいました。神経筋難病を患う患者さんとの意思伝達方法として用いられる透明文字盤を、看護師や学生同士で練習を重ねた後、患者さんのもとへと向かいました。患者さんから「学校は楽しいですか」と聞かれた時も上手に読みこなし、笑顔で「楽しいです」と答え、和やかに交流することができました。また、どの学生もサポートなしで患者さんの好きな食べ物やアニメの話ができていたので、担当した看護師は驚きながら見守っていました。</p> <p>企画、運営に関わった看護師は、学生さんが短い時間を有効に使って少しでも喜んでもらえる良い体験ができるようにと話し合い、説明内容を考えたりシミュレーションをしながら、丁寧に準備をしました。携わった看護師にとっても有意義な体験の機会となりました。未来の後輩たちの夢を少しでも後押しができたのではないかと思います。</p>		

## ふれあい看護体験に参加して

- ☆今回、初めて文字盤を使っている患者さんを見ました。文字盤を指してくださる患者さんは会話がスムーズにできたけれど、目で会話する人はなかなか上手く視線を合わせることができなくて大変でした。（高校3年）
- ☆聴診器や車いすを使ったり、文字盤を使ったりなど貴重な体験ができてよかったです。詳しく全部教えていただけて本当によかったです。めちゃくちゃかっこいい仕事だと思いました。看護師さんかっこよかったです。（高校3年）



- ☆実際に患者さんと文字盤や筆談を通してコミュニケーションをするのがとても楽しかったです。病院で働いている看護師さんの話を聞けるのがとても貴重でいい経験になりました。受験をがんばる気力になりました。（高校3年）
- ☆普段参加している看護体験と違って、コミュニケーションが困難な患者さんと触れ合うことが初めてだったので貴重な経験になりました。ナース服を着させてもらい、働く想像ができました。（高校3年）

